



## 平成 26 年度日米スポーツ交流事業の開催

日米スポーツ交流事業の様子 (3月14日、於：トリイ通信施設)



平成 27 年 3 月 14 日、読谷村の米陸軍トリイ通信施設において、日米スポーツ交流事業を開催しました。この交流事業は、米軍基地等の周辺住民の方々と在沖米軍人・軍属及びその家族との相互理解の深化を図ることを目的として、平成 20 年度から開催しているところです。

当日は、同施設周辺の住民の方々と同施設等に所属する軍人・軍属とその家族の方々と計約 180 名が、「LET'S GET ALONG 善隣友好」と銘打って、日米混成 8 チームを構成し、玉入れ、五色綱引きなどを行いました。また、昼食時には、日米双方が空手や太鼓、アクロバットの演技等を披露し合いました。言葉の壁を乗り越え、互いに協力し合いながら、楽しくかつ真剣に競技に取り組むことにより、日米間の相互理解と信頼関係がより一層深まったものと考えております。

### 目次

### CONTENTS

平成 26 年度日米スポーツ交流事業の開催 ..... 1  
 FAC6007 慶佐次通信所の全部返還 ..... 2  
 第 8 回キャンプ瑞慶覧 (西普天間住宅地区) の跡地利用に関する協議会の開催 ..... 2  
 第 23 回防衛セミナーの開催 ..... 3  
 空気調和機器の機能復旧工事について ..... 4  
 新潟大学教育学部附属新潟中学校の追究学習について ..... 4

民生安定助成事業及び障害防止事業について ..... 5  
 米軍再編に係る航空機の訓練移転について ..... 6  
 県道 104 号線超え実弾射撃訓練の分散・実施への取り組み状況 ..... 7  
 米軍航空機事故対応に関する米軍との合同実動訓練の実施 ..... 7  
 退職者の紹介 ..... 8  
 2015 おきなわマラソンの開催 ..... 8

## FAC6007 慶佐次通信所の全部返還

慶佐次通信所は、沖縄北部と本土を結ぶ米軍海底ケーブルのための無人中継所施設として使用されていましたが、米側が同通信所を必要としなくなったため、平成 27 年 2 月 27 日に返還されました。

### 【返還内容】

所在地：沖縄県国頭郡東村字慶佐次

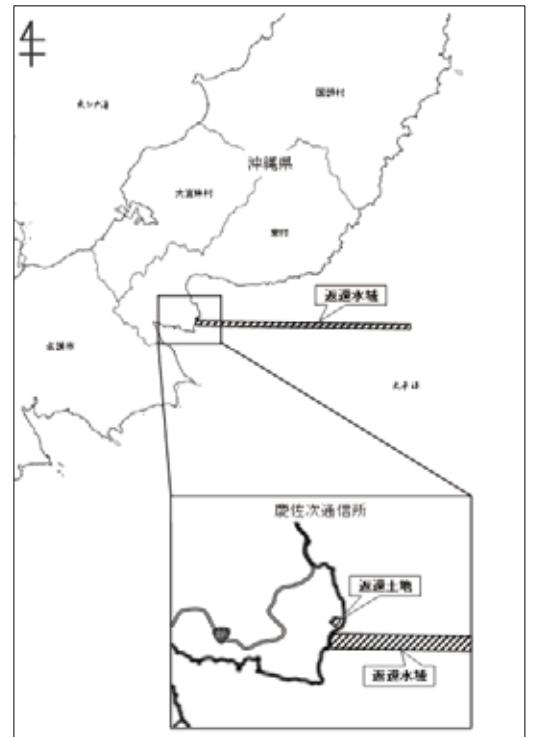
返還面積等：

土地 約 1 ヘクタール

水域 次の各点を結ぶ線の両側 100 メートル以内の区域

(1) 北緯 26 度 36 分 11.0 秒、東経 128 度 09 分 09.1 秒

(2) 北緯 26 度 35 分 56.0 秒、東経 128 度 17 分 35.0 秒



## 第8回キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)の跡地利用に関する協議会の開催

平成 27 年 2 月 27 日に宜野湾市農協会館（ジュビランス）において、第 8 回目となる「キャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区）の跡地利用に関する協議会」が開催されました。

沖縄防衛局からは、同地区が予定どおり同年 3 月 31 日に返還されること、返還までの事務手続、返還日以降の跡地利用を踏まえた支障の除去に関する措置の内容、補償金の支払制度などに関する説明を行いました。

また、同年 3 月 8 日及び 9 日には、第 8 回協議会で説明した内容を地権者にもご説明するため、返還等に係る地権者説明会も開催しました。

これまで国の防衛行政のために、土地をご提供いただきました地権者の皆様方に感謝申し上げますとともに、返還に当たりご尽力いただきました宜野湾市や宜野湾市軍用地等地主会等に感謝申し上げます。

沖縄防衛局としては、引き続き同地区の有効かつ適切な利用の推進が図られるよう、地元のご意見を十分に伺いながら、最大限努力してまいります。



第 8 回協議会の様子

## 第23回防衛セミナーの開催

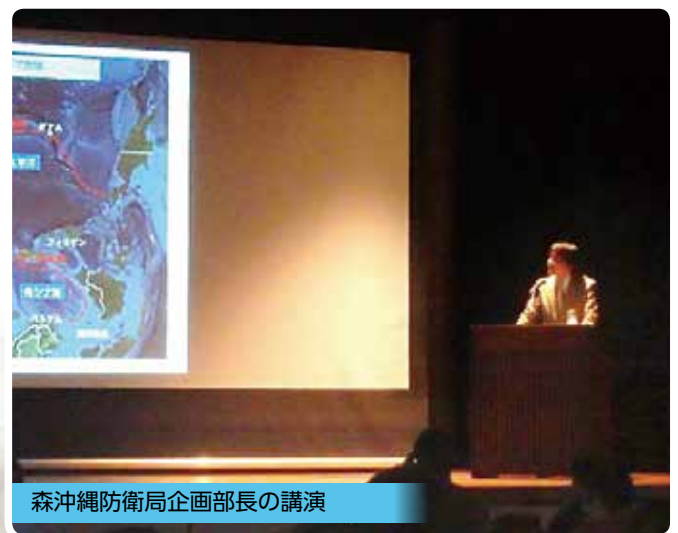
平成 27 年 3 月 18 日、久米島町の具志川農村環境改善センターにおいて、第 23 回防衛セミナーを開催しました。今セミナーは、23 回目にして初めての離島開催となりました。

今回のテーマは、昨今の尖閣諸島周辺海域への中国艦船による領海侵入や中国軍機による自衛隊機への異常接近等、主に中国の軍事的活動が活発化していることに鑑み、テーマを『美ら島を守るために』とし、第 1 部では、当局の森企画部長が「沖縄周辺における安全保障環境について」を、第 2 部では、今回の防衛セミナー開催地である久米島町に所在する航空自衛隊久米島分屯基地の佐藤基地司令が「航空自衛隊久米島分屯基地の役割」について講演しました。

聴講された方々からは、「南西域の現状について危機感を感じた」「近くて遠い存在の自衛隊の活動が少し理解できた」「島民が安心して生活ができるよう守ってください」などの感想や意見をいただきました。

なお、講演内容につきましては、沖縄防衛局ホームページに掲載しますので、ご覧下さい。

当局としては、防衛セミナーが防衛行政に対する国民の皆様のご理解の一助となれば幸いです。

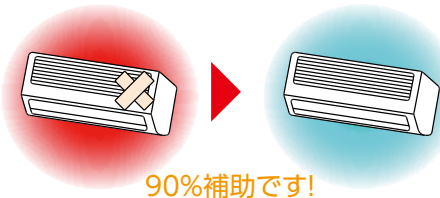


## 空気調和機器の機能復旧工事について

沖縄防衛局では、住宅防音工事の対象となる住宅の防音工事に関し助成を行っています。

今回は、皆様方に住宅防音工事のうち、空気調和機器の機能復旧工事の内容を知っていただくため、その概要をご紹介します。

- 住宅防音工事により設置した空気調和機器の機能を復旧する工事です。
- 住宅防音工事が完了した日から 10 年を経過し、その機能の全部又は一部を保持していない空気調和機器が対象となります。
  - ※住宅防音工事により設置した空気調和機器に替えて、補助事業者自らの負担で設置した空気調和機器についても、住宅防音工事完了日から 10 年を経過し、その機能の全部又は一部を保持していない場合は対象となります。
- 補助率は 90% です。(自己負担は 10% となります。)
  - ※ただし、助成を受けられる方が生活保護法（昭和 25 年法律第 144 号）第 6 条第 1 項に規定する被保護者の方又は中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律（平成 6 年法律第 30 号）第 14 条の規定により支援給付を受けている方である場合、補助率は 100% となります。



住宅防音工事に関するお問合せは  
 沖縄防衛局 企画部 住宅防音課  
 TEL：098-921-8150

## 新潟大学教育学部附属新潟中学校の追究学習について

新潟大学教育学部附属新潟中学校2年生の生徒の皆さん計44名が、2月5日、沖縄の基地問題をテーマとした追究学習の一環として当局を訪問し、職員と意見交換を行いました。

森企画部長からは、生徒の皆さんに問題提起をする形で説明を行いました。これに対する皆さんからの発表や質問を拝聴し、それぞれが事前の調査活動において、問題意識を持って質問を準備するなど、非常によく勉強されているという印象を受け、当局職員も強く感心させられました。

当局での学習が、生徒の皆さんが安全保障の問題に更なる関心を持ち、今後いろいろと考えていきかけとなれば幸いです。



### 追究学習を終えて

生徒の皆さんから御感想をいただいたので、その一部について紹介させていただきます。(内容は原文より抜粋)

- ・米軍基地は、力の空白をつくり戦争を始めないためにも必要であり、周りの国々との関係や地理的要素からその大半が沖縄にあることがわかりました。
- ・基地問題を様々な視点でみるという課題をもとに、この終わりの見えない問題が最終的にどんな方向に進めばいいのかという問を立てて学習を進めてきました。様々な人の主張や思いをもとに、どのようにしていけばいいのか考えていきたいです。
- ・基地があることのメリットは安全保障上のことと他国への抑止力であり、デメリットは主に周囲の人々への不安だとわかりました。
- ・今回いただいたお話では、一つの立場にこだわらず、広い視野で物事を考えることの大切さを学びました。このことを生かして、日常でも様々な意見を聞いた上でまとめられる力をつけていきたいです。

## 民生安定助成事業及び障害防止事業について

沖縄防衛局では、防衛施設と周辺地域との調和を図るため、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律に基づき、障害を防止する事業、民生安定施設の整備事業を行っております。

今回はこれら基地周辺対策事業の事例を紹介します。

### 民生安定助成事業

地方公共団体が行う道路、公園、消防施設、屋外運動場、コミュニティ供用施設、し尿・ごみ処理施設などの生活環境施設の整備や、農業用、漁業用施設などの事業経営の安定に寄与する施設の整備に対して助成を行っております。



屋外運動場（恩納村）



コミュニティ供用施設（糸満市）



農業用施設  
特産品加工支援施設（伊江村）



消防施設  
（国頭地区行政事務組合）

### 障害防止事業

演習場の荒廃などによって生じる障害を防止し、又は軽減するため、地方公共団体などが行う洪水対策を目的とした河川改修、谷止工、用水対策を目的とした、ため池、ダムなどの整備に対して助成を行っております。



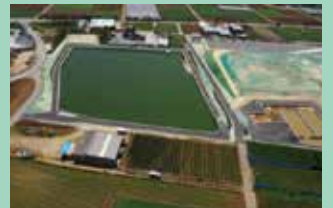
洪水対策：億首川改修工（沖縄県）



洪水対策：美徳川改修工（金武町）



洪水対策：周辺洪水対策（南城市）



用水対策  
1号溜池工（伊江村）

## ☆ 周辺対策事業に関連した地域活性化の取り組み ☆

企画部周辺環境整備課では、上記で紹介した様々な補助事業を実施していますが、これら補助事業は、整備されるだけには留まらず、地域活性化に大きく貢献されているものと考えます。その様な中で、同課の池田課長においては、自身の特技を生かし、地域活性化の一つとして、自生植物を活用したアレンジ花を、各市町村において実施してきました。

ここ近年は、防衛施設が関連する市町村において、地域活性化に向けた補助事業の施策の充実の要望が多くあります。その中で、職員の技術を活用したこの取り組みは、今後、農林漁業等における6次産業化の一つとして、沖縄本島をはじめ、与那国町を含む離島においても、地域振興策の一つのアイデアとして御提案させていただければと考えております。



久米島町役場



上勢保育園（北谷町）  
落成式にて



糸満市役場にて（市章）



沖縄防衛局正面玄関



嘉手納町婦人部の  
つどいにて

## 米軍再編に係る航空機の訓練移転について

米軍再編に係るグアム等への航空機の訓練移転は、平成22年5月28日の「2+2」共同発表に基づく、嘉手納飛行場における更なる騒音軽減に資する措置であり、平成26年9月、10月、12月及び平成27年2月に、嘉手納飛行場で実施予定であった航空機による訓練をグアム等へ移転して実施しました。

- ・ 嘉手納飛行場所属→グアム等 F - 15 × 16 機、空中給油機 × 2 機、早期警戒管制機 × 1 機等、  
人員約 320 名
- ・ 岩国飛行場所属→グアム等 FA - 18 × 16 機、空中給油機 × 4 機、MV - 22 × 4 機等、  
人員約 1,140 名
- ・ 嘉手納飛行場所属→新田原基地 F - 15 × 12 機、人員約 200 名
- ・ 嘉手納飛行場所属→グアム等 F - 15 × 18 機、空中給油機 × 2 機、早期警戒管制機 × 1 機等、  
人員約 400 名
- ・ 三沢飛行場所属→グアム等 F - 16 × 14 機等、人員約 400 名
- ・ 嘉手納飛行場所属→グアム等 F - 15 × 18 機、空中給油機 × 3 機、早期警戒管制機 × 2 機等、  
人員約 410 名

### ○訓練移転期間中における嘉手納飛行場の平均騒音発生状況

項 目	騒音測定場所	
	滑走路国道側	滑走路県道側
嘉手納飛行場所属→グアム等の訓練移転期間 平成26年9月5日～9月28日	89.2W	90.6W
岩国飛行場所属→グアム等の訓練移転期間 平成26年9月8日～10月10日	89.4W	91.3W
嘉手納飛行場所属→新田原基地の訓練移転期間 平成26年10月18日～10月31日	90.8W	93.6W
嘉手納飛行場所属→グアム等の訓練移転期間 平成26年12月3日～12月19日	89.2W	93.4W
三沢飛行場所属→グアム等の訓練移転期間 平成27年2月4日～2月28日	91.0W	92.0W
嘉手納飛行場所属→グアム等の訓練移転期間 平成27年2月9日～3月2日	90.5W	91.2W
平成18年度（訓練移転開始前）	94.0W	94.2W

### ○訓練移転期間中における外来機と考えられる航空機の1日当たりの平均離着陸等回数 (0600-1800)

項 目	戦闘機	戦闘機以外	合計
嘉手納飛行場所属→グアム等の訓練移転期間 平成26年9月5日～9月28日	3.1回	17.4回	20.5回
岩国飛行場所属→グアム等の訓練移転期間 平成26年9月8日～10月10日	2.4回	15.4回	17.8回
嘉手納飛行場所属→新田原基地の訓練移転期間 平成26年10月18日～10月31日	0.0回	22.9回	22.9回
嘉手納飛行場所属→グアム等の訓練移転期間 平成26年12月3日～12月19日	6.0回	23.0回	29.0回
三沢飛行場所属→グアム等の訓練移転期間 平成27年2月4日～2月28日	26.9回	23.6回	50.5回
嘉手納飛行場所属→グアム等の訓練移転期間 平成27年2月9日～3月2日	27.2回	23.2回	50.4回
平成25年度	16.4回	17.5回	33.9回

## 県道104号線超え実弾射撃訓練の分散・実施への取り組み状況

キャンプ・ハンセンにおいて実施されていた、いわゆる県道 104 号線超え実弾射撃訓練については、平成 8 年 12 月の日米特別行動委員会（SACO）の最終報告に基づき、沖縄県民の負担軽減のため、これらの訓練を平成 9 年 7 月から本土 5 ヲ所の陸上自衛隊演習場で分散・実施しており、これまでに 61 回実施されています。

沖縄防衛局では、在沖米海兵隊がこの訓練を実施するにあたって必要な物資等の円滑な輸送のため、米軍や輸送業者と打合せを重ね、輸送状況を確認するなどの業務を行っています。

平成 27 年度の訓練計画については、以下のとおり予定しており、各演習場における訓練の具体的な日程等については、今後、日米間において調整を行い決定します。

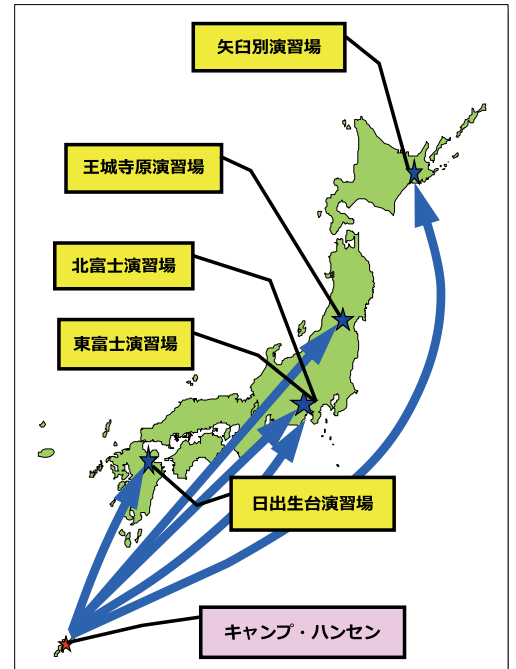
今後とも、本土 5 ヲ所の演習場への訓練の分散・実施を行い、沖縄県民の負担軽減に取り組んでいきたいと思ひます。

### 【平成 27 年度訓練計画】

第 1 回	王城寺原演習場	平成 27 年	5 月下旬～ 6 月下旬
第 2 回	東富士演習場	平成 27 年	9 月上旬～ 10 月上旬
第 3 回	矢白別演習場	平成 27 年	11 月中旬～ 12 月中旬
第 4 回	日出生台演習場	平成 28 年	2 月上旬～ 3 月上旬

※上記期間は、部隊の展開期間である。

本土 5 ヲ所の陸上自衛隊演習場で分散・実施



## 米軍航空機事故対応に関する米軍との合同実動訓練の実施

平成 27 年 2 月 17 日、読谷村に所在する在沖米陸軍トリイ通信施設内において、米軍航空機による墜落事故を想定した第 10 回日米合同実動訓練が行われました。

今回の訓練は、米軍航空機が米軍施設・区域外に墜落・炎上し、これに伴い陸上において地元住民と車両への被害が生じ、また、事故発生の際に米軍搭乗員数名が海上に脱出したとの想定の下に行われました。

陸上では、日本の警察及び米軍の憲兵隊による現場周辺の規制が行われるとともに、日米双方の消防により炎上する航空機への消火活動や負傷者の救急措置がとられました。海上では、米軍及び第十一管区海上保安本部ヘリにより負傷者の救助訓練が行われました。



日米合同実動訓練の様子

## 退職者の紹介

平成 27 年 3 月 31 日付けで、6 名の職員が定年退職を迎えました。長年にわたる勤務ご苦労さまでした。今後のご活躍をお祈り申し上げます。



設備課  
友利 廣一

27 年 3 月末をもって沖縄防衛局を最後に 38 年間の公務員生活に別れを告げる事になりました。

38 年間を振り返ると「やってみて、言ってみせて、やらせてみて、ほめてやらねば人は動かじ。話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。」という山本五十六元帥の言葉を実践できなかつたことに悔いが残ります。一方、地元沖縄はもとより北は北海道まで多くの場所で勤務し、それぞれの勤務地においていろいろな思い出を残せたこと、艱難辛苦の連続ではありましたが辞めたいとは一度も思わなかつたことには満足しています。

最後に、月並みの言葉ではありますが、38 年間を大過なく過ごせたのもひとえに上司、同僚、部下の皆様のご高配あつてのことと深く感謝しております。

設備課長 友利 廣一



那覇防衛事務所  
浦崎 直林



施設取得第 1 課  
勝連 邦彦



金武出張所  
砂辺 富士



取得補償室  
久手堅 繁



駐留軍労務管理機構  
伊藤 重樹

## 2015おきなわマラソンの開催

沖縄市の沖縄県総合運動公園を発着点とし、沖縄本島中部の 5 市町村を巡る 42.195km をコースとする「2015 おきなわマラソン」が、平成 27 年 2 月 15 日に開催されました。

同マラソンは、米軍嘉手納飛行場内をコースの一部としていますが、これは、沖縄市をはじめとする中部地区 9 市町村で構成する中部広域市町村圏事務組合からの要請に対して、米側の協力により、同飛行場内の一部をコースとして開放しているものです。

当日は、嘉手納飛行場所属の軍人、軍属とその家族がボランティアスタッフとして基地内 2 カ所に給水ポイントを設置し、基地内を通過した 9 千人以上のランナーに給水支援を行いました。

なお、同マラソンには当局のランニングクラブ「ODB - RC」のメンバーも参加し、それぞれが目標達成に向けて力走しました。



【写真提供：米空軍第 18 航空団】



三沢返還対策課長は「40 代の部」で 3 位入賞 (写真左から 3 人目)



ハイサイくん

「はいさい」に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたらお聞かせください。  
連絡先：沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納 290-9 沖縄防衛局総務部報道室  
メールアドレス：houdou@okinawa.rdb.mod.go.jp